

第2回 大和市協働ルール ワークショップだより

発行日：平成 13 年 9 月 15 日 発行：玉川まちづくりハウス・大和市民活動課

全体のスケジュール

- 第 1 回協働ルール検討会議【H.13/1/30】
- 第 2 回協働ルール検討会議【H.13/3/2】
- 第 3 回協働ルール検討会議【H.13/4/19】
- 第 4 回協働ルール検討会議【H.13/5/24】

職員研修ワークショップ【H.13/6/26】
『ワークショップ基礎講座』

第 5 回協働ルール検討会議【H.13/7/5】

第 1 回ワークショップ【H.13/7/15】
『新しい公共のイメージを共有する』
『市民活動推進条例の目的と意味について考える』

第 2 回ワークショップ【H.13/8/5】
『市民活動の主体を整理する』
『パートナーシップ事業の可能性を考える』

第 6 回協働ルール検討会議【H.13/8/31】

第 3 回ワークショップ【H.13/9/15】
『協働プロジェクトをシミュレーション』
『協働事業の問題点を整理する』

第 7 回協働ルール検討会議【H.13/10/4】

第 4 回ワークショップ【H.13/10/21】
『検討会議から問題提起をしてもらう』
『条例化のポイントを洗い出す』

第 5 回ワークショップ【H.13/11/18】
『検討会議からのたたき台を理解する』
『条例の内容を確認し、積み残された問題を議論する』

第 8 回協働ルール検討会議【H.13/12/20】

◆提言【12 月】

◆（仮称）市民活動推進条例【H.14 年度】

行政と市民が協働するためのルールを検討する第 2 回目のワークショップが、猛暑がひと段落した去る 8 月 5 日に開催されました。20 名強の参加者で、『市民活動の主体を整理する』『パートナーシップ事業の可能性を考える』というテーマに沿って、話し合いを進めました。

まず、第 1 回目のワークショップで挙げられた市民活動団体の活動拠点の分布を地図上で確認しました。また、市民活動団体を、「行政との協働事業をイメージしやすい／にくい」という軸と、活動が「地域限定／広域対象」という軸で図表化して整理し、各団体の性格を把握しました。

次に、「大和市との新しい協働事業」を各自カードに書いて、提案してもらい、大和市の方からは、現在進行中の事務事業評価についての説明の後、行政の立場から考える協働事業の具体例を紹介してもらいました。

以上を踏まえ、市民側、行政側がそれぞれ考える協働事業のイメージの組み合わせを話し合い、グループごとにモデル事業を提案し、その事業の性格を「多様性・独創性／公平性・効率性」「非営利団体主導／行政主導」という 2 つの軸からなる座標上に並べ、整理しました。一口に協働事業と言っても、主体のバランス、内容が多様であることが理解できたかと思えます。



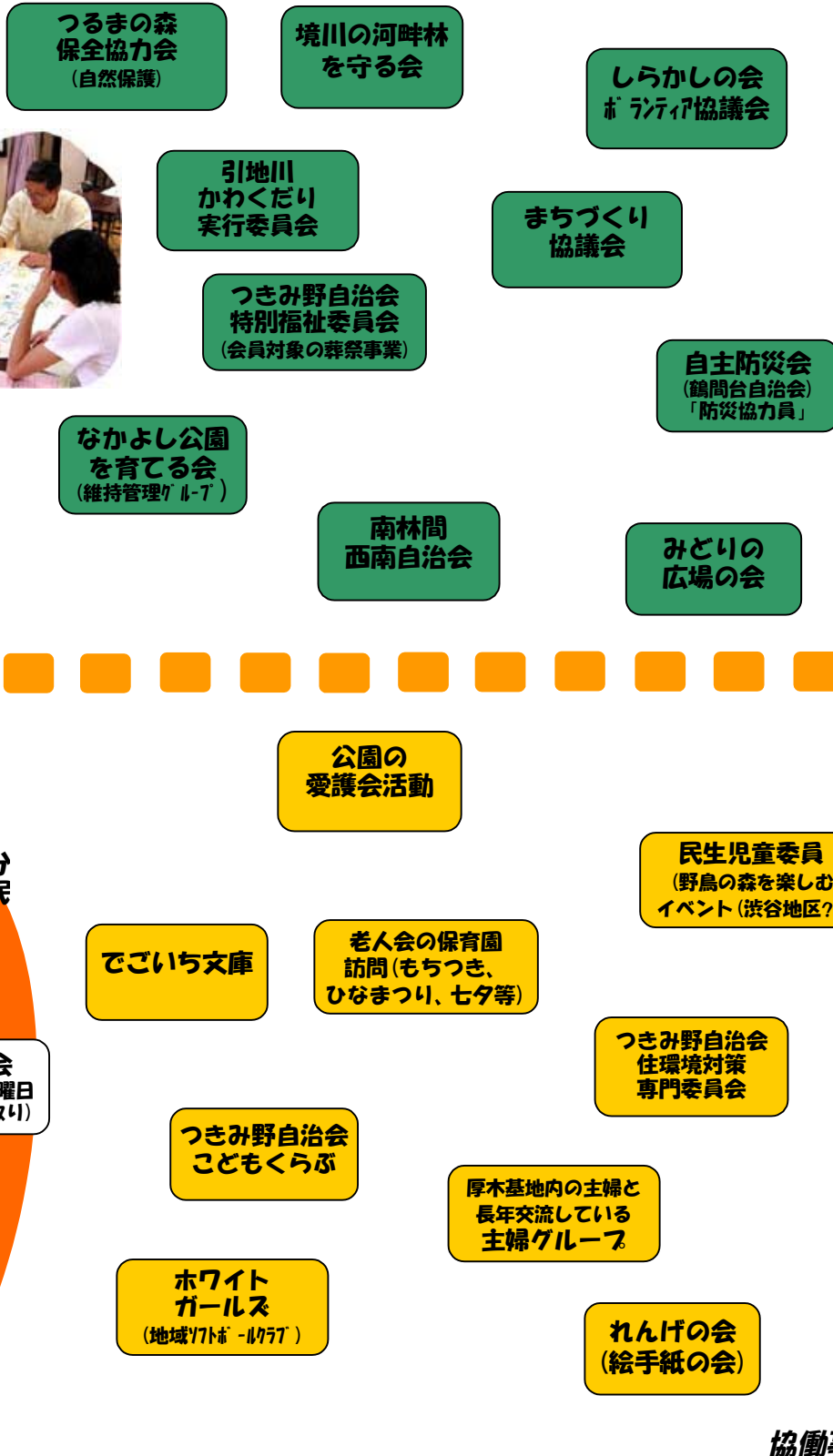
大和市で活動する「市民活動団体」を整理しよう

☐ 前回のワークショップで出された民間非営利の市民活動団体を

- ・ 行政との協働事業をイメージしやすい／しにくい（たて軸）
- ・ 活動の領域が地域限定型／広域対象型（横軸）

という2つの項目を軸に、市民団体の性格を分類・整理しました。

協働事業をイメージ
しやすい市民活動団体





社会福祉協議会
(独居老人訪問、
老人ホーム
お散歩ボランティア)

**かながわ環境
教育研究会**
(環境教育に関する
サポート・サービス)



**ワーカー
コレクティブ 想**
(ホムヘル サービス)

**大和災害
ボランティアネットワーク**

**大和市点訳
赤十字奉仕団**

**わらしこ
くらぶ**
(子育て支援)

あしたほの会

録音奉仕会

**大和ホムヘル
協会**
(ホムヘル サービス)

**大和市災害救護
赤十字奉仕団**

**ワーカー・コレクティブ
とど・葉・とっと**
(食事サービス)

**やまと
エコデザイン会議**
(循環型社会を
目指した交流会)

**大和市平和事業
実行委員会**
(平和事業)

**街づくりフォーラム
やまと 2001
実行委員会**

**子ども110番
の家**
(子ども駆け込み寺)

**ワーカー・コレクティブ
ケアびーくる**
(移送サービス)

パパボロやまと
(住宅改造ボランティア)

大和市腎友会
(移送サービス)

**子育て
ほっとライン**
(子育て電話相談)

**老人会主体
公園清掃奉仕**

**インドシナ難民
定住援助協会**
(日本語の会)

**ワーカー・コレクティブ
チャイルドケア**
(子育て支援)

**ワーカー・コレクティブ
たぶの木**
(配食サービス)

**大和市ボランティア
協議会**
(個人ボランティア)

**広域対象型
活動団体**



母親クラブ

**市政モニター
OB会**
(行財政一般啓蒙)

手話サークル

**市民参加条例
研究会**

**市民のための
介護保険をつくる会**

わたげ
(朗読ボランティア)



**ボーイ
スカウト**

**スポーツ
少年団**

**ベジタブルギター
コンサート**
(保育士のグループ)

**神奈川
女性会議**

**社会環境の
グループ**

親子劇場

**エコハウス
LAN**
(リサイクルショップ)

**老人クラブ
(友愛チーム)**

**大和市青少年
交流協会**
(国際交流)

ケナフの会
(環境保護)

**ポラーノ
の広場**

**リセールショップ
ワーカー・コレクティブ
遊民**

婦人の会

緑のボランティア
(施設の草花の
水やりなど)

トイドッグ大和
(おもちゃの出張
修理を行うグループ)

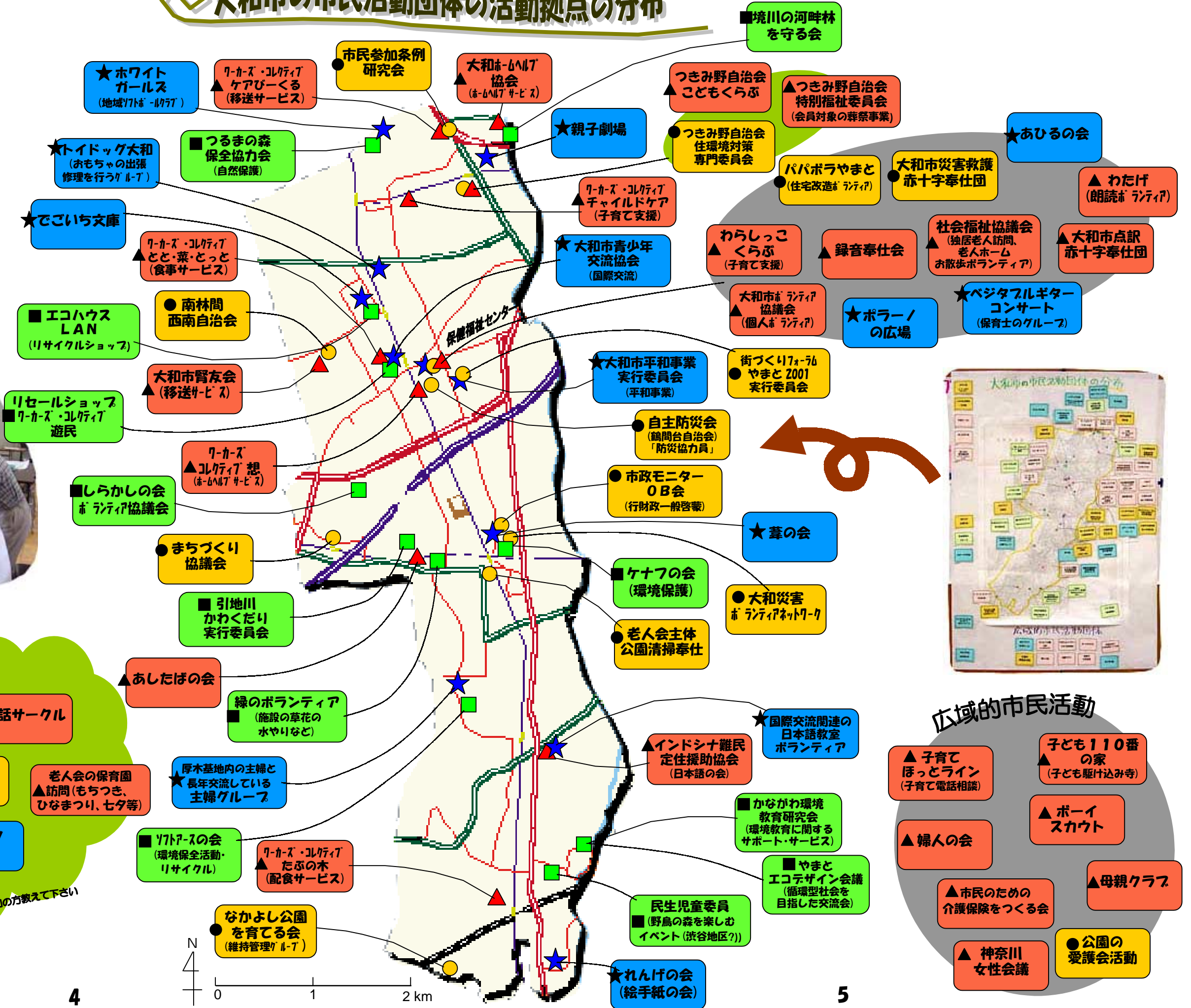
葺の会

大和市の市民活動団体の活動拠点の分布

大和市の市民活動団体の活動拠点の分布を、地図上で確認しました。

凡例

- …地域のまちづくり
- ▲ …暮らしの支援
- …環境・エコロジー・リサイクル
- ★ …生きがい・芸術・文化



活動拠点…?

- いのちと平和を守る会
 - ▲手話サークル
 - おやし会 (月1回、日曜日に公園の草取り)
 - みどりの広場の会
 - 社会環境のグループ
 - ★スポーツ少年団
 - ★老人クラブ (友愛チーム)
- ご存知の方教えて下さい

広域的市民活動

- ▲子育てほっとライン (子育て電話相談)
- ▲子ども110番の家 (子ども駆け込み寺)
- ▲婦人の会
- ▲ボーイスカウト
- ▲市民のための介護保険をつくる会
- ▲母親クラブ
- ▲神奈川女性会議
- 公園の愛護会活動

あなたが提案したい協働プロジェクト

自己紹介カードに「あなたが提案する大和市との新しい協働事業を書いて、グループ毎に紹介しました。【①プロジェクトの主体 ②プロジェクトのイメージ】

- ① 行政がモバイル、地域情報機器レンタル
- ② 消防、警察、医療等行政(本部)の連携業務のため近隣市町村からも資金
- ① ボランティア協議会
- ② やれることと、してほしいことの間を調整して、連続性と責任を保てるコーディネート機関の設置
- ① 母親、子供が好きな人が集まって
- ② 共働きの家の学童前、あるいは学童児のあずかり(食事なども提供したりする)

協働プロジェクトの可能性について考えよう

市民活動支援センター

- ◆これから作っていく
- ◇活動団体の点を線でつなげるセンター
- ◇情報インターネット共有化
- ◇支援する人材と、人材を育成する機能
- ◇経験を積んで転職していく
- ◇生きがいを感じられる



コミュニティバス事業

- ◆NPO法人、市民団体、社協登録ボランティア等
- ◇バスに運転手の他に車掌(サポーター)が1人添乗して、障害者、高齢者の乗降介助等の接客サービスの向上及び、運営もNPOやボランティア市民が参加し、活性化を図る

多様性・独創性 事業モデル

大和市自主防災連絡協議会

- ◆地域の連合自治会の中の防災部
- ◇自治会長と自主防災団体が集まって、相互の防災意識の確認と情報交換
- ◇徐々に自主防災意識を高めていく
- ◇協働するなら市民活動課

子育て支援

- ◆子育て支援NPO
- ◇仕事や買い物で長時間外出するお母さんの子供のケア
- ◇放課後の児童に食事サービス
- ◇外で遊べる
- ◇今あるシステムを充実させる
- ◇相談機能付き

通訳事業

- ◆通訳NPO
- ◇病院や市役所などの公共機関で通訳サービス(市からの委託)
- ◇買い物や交渉などのお手伝い(受益者負担)

まちづくりフォーラム

- ◆まちづくり協議会
- ◇自治会・老人会・商店会など、幅広いネットワークでまちづくり
- ◇もっと若者の参加が増えるしかけを考えよう

行政 イニシアティブ

非営利団体 イニシアティブ

凡例

協働事業名

- ◆協働する非営利団体
- ◇事業内容のイメージ



幼児から成人までの総合的・体系的な日本語指導機関の設置

- ◆(例)神奈川県インドシナ難民定住援助協会
- ◇定住外国人の自主促進を図り、地域参加と自立、子供たちの学力向上を目的とする
- ◇子供は言語習得(無料)を、成人は生活言語の習得(実費負担)を目指す
- ◇地域の学校や国際交流協会などで、1日2時間・週5日、対象別のクラスを設ける
- ◇専門家が指導、ボランティアがアシスタント

公平性・効率性 事業モデル



行政の実施している事業内容を知ろう



事務事業評価とは…？

市民に対し、行政活動の説明責任を果たすために、どんな事業を、何のために行い、どのような成果があるのか、また手段・手法、コスト、成果などが適切かどうかを検証し、改善するための自己点検のこと。

行政の立場から考える協働事業の具体例

行政は、どのような協働事業のイメージを持っているのか具体例を挙げてもらいました。

No	施策名	概要	担当課
1	コミュニティバス事業	コミュニティバス運行に向けて、これまでグループインタビュー等の実施や市民公募を含む「コミュニティバス検討準備会」で議論を重準備を進めてきた。現在、公募市民を委員に含む検討会議により具体的な検討を進め、よりよいコミュニティバスが市内を運行できるよう進めている。	都市総務課
2	まちづくりフォーラムの実施	様々な街づくりに関する情報を提供するとともに、市民自らが参加することにより街づくりへの関心を高めるため、フォーラムの企画運営・実施を実行委員会(街づくり組織の代表や公募市民)により行っている。	都市整備課
3	協働の街づくり推進事業	大和市みんなの街づくり条例に基づき、市民・事業者・行政がそれぞれの役割のもと市民や事業者の自主的な街づくりを支援し、ルール化等により良好な住環境を形成し、市民が自分の住む街を誇りに思えるよう協働の街づくりに取り組んでいる。	都市整備課
4	事務事業評価	市民に対する行政活動の説明責任を果たすと共に行政活動の自己点検を行い改善改革を行う。将来的には内部評価だけでなく外部評価(市民参画)を取り入れて進める。	総合政策担当
5	男女共同参画社会の形成	広く市民の意見を取り入れた計画とするため市民からなる協議会等の検討を経て男女共同参画プランを策定した。現在、このプランを推進するため公募委員を含む懇話会による検討も進めている。	企画政策課
6	地域防災の推進	現在、市内では各自治会の自主防災会が主体となり、災害時には自分達の住むちは自分達で守るため地域防災訓練を実施している。	防災対策課
7	どこでもコミュニティ市民会議	多くの市民が市政へ参加し、市民の意見を市政に反映していくため、情報技術(インターネット)を活用した市民参加によるどこコミが行われている。将来的には市民組織等によるどこコミの管理・運営を予定している。	情報政策課
8	協働のしくみ推進事業	市民自治・参加・市民等の自立によるまちづくりに基づいて「新しい公共」を作っていくためのルールづくりを、協働ルール検討会議、ワークショップ、ネットワークなどの様々な場を設け、協働の過程を重視しながら進めている。	市民活動課
9	体験的環境学習推進事業	環境問題は、体験を通じて、自ら気づき、考え、調べ、行動するプロセスを重視した環境学習が重要である。そこで、行政・市民・民間団体・事業者等の主体が連携・協議しながら、モデル事業や地域間交流を進める。	環境総務課
10	資源分別回収事業	現在、自治会の協力を得て資源分別回収を行っている。将来的には協働による事業実施の可能性もある。	清掃事業課
11	清掃の日実践活動事業	市と自治会連絡協議会との共催により公共の清掃を行い、地域美化運動の推進を図っている。	清掃事業課
12	みどりの愛護会支援事業	行政だけでは全ての公園の表面管理を行うことは難しい。そうした中、地域住民が公園愛護会を組織して、公園を身近な施設として維持管理を行っている。そのため維持管理に必要な物品などを支給している。	水と緑課
13	市民参加の川づくり事業	川を身近なものとし市民の声を将来の川づくりにつなげ、河川を地域活動形成の一つの拠点とするため、市民と共に河川環境学習やバーウオッチング、水生生物等の観察を行う。	水と緑課
14	市民参加型公演プラン作成事業	公園が身近な施設として地域コミュニティの形成につながるような公園の新設やリフォームの際にワークショップ形式により地域の住民と共に公園のプランを作成し、整備する。	水と緑課
15	地域福祉計画の策定	地域福祉の活動への住民参加を促進するため等を目的とする地域福祉計画は、地域住民の参加や意向を十分に反映したものでなくてはならない。そのため地域住民と共に計画の策定を進めていく。	福祉総務課
16	社会福祉協議会補助事業	福祉施策を進める上で社会福祉協議会や地区社協は欠かすことの出来ない存在である。そのため、社協が安定して活動し、福祉の推進を図るため補助を行っている。	福祉総務課
17	(仮称)桜森プロムナード整備事業	桜森地区の国有地をオープンスペースとして利用するため、地域住民と一緒にワークショップを開催してきた。今後は地域の憩いの場となるようワークショップで出された地域の以降を取り入れたプロムナードの整備を行う。	道路整備課
18	道路管理	現在、道路管理についても行政側で行っている。しかし、少なからず市民が自分の家の前の道路の一部お花を植えたり、清掃を行っている。将来的には地域等で道路管理について協働が進める可能性がある。	道路管理課
19	渋谷土地区画整理事業に併せたまちづくり事業	土地区画整理事業に併せて、地域と一体となったまちづくりが進められるよう、商店街を題材に消費者から見た好ましい将来の商業地等について、ワークショップによる検討を行っている。	渋谷土地区画整理事務所
20	教育ボランティア活用推進事業	これからの学校教育は、開かれた学校、地域と共有する学校教育を進めていかなければならない。地域には貴重な経験や専門的な知識を持つ人々があり、このような方々の力を借りて学校教育の充実を図る。	水と緑課
21	しらかしの家管理運営事業	現在、ボランティア協議会とみどり財団、行政により運営を進めているが、将来的にはボランティア団体等の市民組織による管理・運営について検討していく。	水と緑課
22	生涯学習ボランティア講師	様々な知識や経験を持つ市民がボランティア講師として活躍しており、協働による生涯学習を推進しています。将来的には運営等の面においても市民と協働の可能性があるとと思われる。	生涯学習センター

感想カードより



◆本日初めての参加。行政、民間共（ボランティア）たくさんの団体にびっくり、議論の場に参加でき、皆さんの色々な意見も聞け、勉強になりました。

◆初めて出席させて頂きましたが、大和市内には様々な市民活動団体がたくさん有るのに大変驚いた次第です。私も様々な協働プロジェクトに積極的に参加したいなと思って居ります。

◆すでに行政が実行・検討している事業を再度分析して、プラスオンするのか、改善するか、まだまだ検討（市民参加）して行ける希望の光が見えて来た。行政の事業分析を出来る限りピッチを上げて完成・発表してほしい。

◆NPO というものが、どういうものなのか、あまり分からない状態で参加させて頂きましたが、市民一人ひとりが住みやすい街にするために、市民がこんなにもたくさんの活動を行っていることを知り、驚きました。これからの時代だからこそ、より多くの若者が、NPO 活動に参加できる環境を作っていけたらと思います。

◆大変勉強になり、ありがとうございました。特に、協働事業に関して、有意義なお話、etc. ありがとうございました。

◆前回より参加者が増えてよかったと思います。もっともっと色々な市民活動団体からの参加が必要なのではと思います。

◆協働事業について役所はどの位置付けをもっておるのか、本気かどうか時間的な問題も含めて。

◆市内にあるおおくのグループが、どんな活動をされているのかも知りませんが、知り合える場も欲しいです。協働して事業が出来ることは素晴らしいことと思います。

◆突然、会の方より参加するようにとのことで、何かあまり分からないの内に参加して自分の視野の狭さにびっくり。もう少し大和市にボランティア団体の意味も含めて勉強して参加したいです。

◆2回ワークショップに参加してみて、参加者の基礎知識(又は同一認識)はどれ位のレベルにあるのかと思う。かなり高いからモデル事業を自分たちで検討して発表できるのかな。しかし、ワークショップってもともと関心のある事に関心を持っている人だけの集合体に過ぎないのでは？もっともっと基本的な話を、お互いに話し合っポトムアップしていかないと偏った人達の集合体で終わってしまうのでは？でもそんな時間ないか。素直な感想です。

◆行政協働事業例の⑨（環境シンポジウム[H.13.2.24]）に参加をしました。これは、市&市民の参加の第一歩だったと思ってます。又今回ワークショップで市と市民とで協働事業、①グループで発表した内容がよいのではないかと話し合いました。又子育てネットワークのようなネットワークがあればよいのではないかと。子育てで親子の悩みを聞けるセンター（相談センター）が出来たらと思います。（大和市が市民（親子の悩み）を全体でとらえてほしい。

◆今日は比較的活発な発言が飛び交って楽しい時間を過ごさせてもらいました。このルール作りは、なかなか収斂する方向に行くのかな（？）と感じるようになってきました。

◆第2回目の参加で、このワークショップが身近なものになりました。それぞれの自由な発想がおぼろげながら“かたち”にしてみることが楽しかったと思いました。

20名ぐらいの参加者の中でまとめようとしたいくつかの「こんな協働プロジェクトがあったらいいな」は、なかなかのものでした。非営利団体がイニシアティブをとることが望ましい。

◆初参加。いろいろと考えたり、知ったりできて、私の勉強不足を痛感したり致しました。コミュニティバスの件は、早急に実施していただきたい。又、災害の件も早くとりこんでほしいです。

◆今日のプログラムの中では、Step4) 行政の実施している事業内容を知る一についていくつかの疑問が残りました。H.12年度に実施した本市の全行政活動の事業評価をされるということですが、委託している事業についても実施されるのでしょうか？これはぜひやるべきだと思います。

また、企画政策課作成の「協働事業の具体例」の中で社会福祉協議会に対して過大な評価が与えられすぎているのではないかと思います。

社協と市の関係は協力関係とは言えないのではないかと感じています。第一、社協関係者は今進んでいる協働ルールに対して全く関心がないですね。

◆初めて今回から参加させて頂きました。まだ良く全体が把握できていないのですが、参加者と話し合う事により、少しずつ理解し、理解してもらいながら、協働事業を考えていけたらと思います。

◆定住外国人の問題について改めて考えさせられました。

◆本日のグループワークはそれほど重くなかったので、グループ内で色々な話を聴くことができて良かった。特に定住外国人が直面している問題が明らかになり、自分としてはハッとしました。地域の中には自分が認識していない問題、課題が山積していることが理解できて良かった。

◆今回4グループにグループ分けが出来たこと、これだけの方々が大和市に関心を持ち、行動しようとしていることがわかって、元気なれます。この集まって来られた方々のネットを構築する手だてを考えてください（とお願いするのは市民アクションではないかもしれませんが）。拡散してしまうのがもったいない。

◆2回目として、いま市内で行われている奉仕グループ、ボランティアグループはどんなものがあるかを再点検しましたが、知らないものが多いこと。ではそれを整理してどんなものができるかということを考えましたが、ルールを作る、何かを作るということの難しさをあらためて知りました。

◆市民の活動をイメージしていくのが、なかなか難しいようです。市にしてほしいものというイメージが強いように思いました。ステップ6の議論を深めることが必要で、市がやることと市民がやることの区分けを何をもって判断するのかのものさしが必要だと思いました。

◆色々なアイデアが出て面白かった。Step2、6のたて横軸の整理についてはやや分り難く、どういう主旨で軸を考えれば良いかの説明もしくは考える時間がある方が良かったと思う。

市の業務の一覧が出せないということは、本当かな？今まで全体像が分り難いという理由が分った。しかし、びっくりもするもんだ！早く改善したいですね！

次回のお知らせ

第4回大和市協働ルールワークショップ

日時:平成13年10月21日(日)13:30-16:30 場所:勤労福祉会館大会議室

テーマ:「検討会議から問題敵をしてみよう」「条例化のポイントを洗い出す」